

【教育委員会議事録】平成28年9月定例会

開催日時	平成28年9月30日（金） 9：30～：11：00
開催場所	下関市教育センター 3階中研修室
出席委員の氏名	波佐間 清（教育長） 林 俊作（教育長職務代理者） 吉井 克也 藤井 悦子 松田 まさ子
欠席委員の氏名	欠席なし
委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名	教育部長 石津 幸紀生 教育部次長 伊藤 信彦 教育部次長 森永 亮 教育政策課長 三好 洋一 学校教育課長 井上 成人 教育研修課主幹 三井 清 学校支援課長 宇都宮 義弘 学校保健給食課長 高原 雄二 教育指導監（生徒指導推進室長） 岡崎 茂邦 生涯学習課長 古西 修一 文化財保護課長 沖吉 洋一郎 図書館政策課長 高森 俊明 美術館副館長 中村 美幸 歴史博物館長補佐 古城 春樹 土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム館長 吉留 徹 下関商業高等学校事務長 富田 智雄 菊川教育支所長 林 文男 豊田教育支所長 山尾 淳子 豊浦教育支所長 戸田 一仁 豊北教育支所長 西村 敬教 教育政策課主幹 光吉 計志 教育政策課主査 岡本 誠也 教育政策課主任 殖木 章充
傍聴人の数	傍聴人なし

次第（目次）

【開会の宣告】	．．．．．	P 3
【署名委員の指名】	．．．．．	P 3
【教育長報告】	．．．．．	P 3
【報告事項】		
第2次下関市総合計画 前期基本計画 実施計画（平成28年度版）について	．．．．．	P 5
平成28年度こども文化パスポート事業の集計結果について	．．．．．	P 8
平成28年度全国学力・学習状況調査における下関市の結果分析について	．．．．．	P 10
工事請負契約の締結について	．．．．．	P 12
平成28年度地区文化祭・公民館まつり等について	．．．．．	P 13
下関市青少年補導委員の解嘱及び委嘱について	．．．．．	P 14
枝木の落下に伴う車両損傷事故について	．．．．．	P 14
下関市立歴史博物館の設置等に関する条例の一部の施行期日を定める規則について	．．．	P 16
【その他】	．．．．．	P 17
【閉会の宣告】	．．．．．	P 17

【開会の宣告】

波佐間清（教育長）

皆さんおはようございます。それでは、教育委員会9月の定例会を開催いたします。

【署名委員の指名】

波佐間清（教育長）

本日の議事録の署名は、「吉井委員」「林委員」をお願いいたします。

本日の日程は日程1の報告事項が8件、日程2のその他となっております。

【教育長報告】

波佐間清（教育長）

それでは、報告事項に入る前に教育長報告をいたします。2ページを見ていただければと思います。

9月の定例市議会が9月2日から28日までありました。9月7日水曜日に文教厚生委員会が開催され、審査が平成28年度補正予算と奨学金貸付条例の一部を改正する条例の2議案、そして、報告として、そこに書いてある事項を報告いたしました。

点検評価。これについては皆さんご存じのように、教育委員会定例会でも審議をして評価を得たところであります。そして神田小学校の学校統廃合、契約事務関係、図書館基本計画の策定スケジュールなどについて報告をしたところであります。

それから9月12日に決算特別委員会があり、教育費について、前年度の決算についての委員会がありました。

また、9月20日から27日まで、一般質問で今回は非常に多くの方が質問をされました。全体の質問者が34人の議員さんのうち28人の方が質問者になられ、そのうち28人中21人の方が教育に対しての質問をされました。約3分の2以上ということになりますでしょうか。これだけ質問があるということは、教育に対して関心が非常に強いということの表れでもあります、そこに書かれている項目が今回の質問事項の項目であります。

日本遺産認定、城下町長府観光振興とまちなみ保存、公共施設の削減計画、社会教育施設の充実、防災計画の見直しと耐震化、それから不登校児童生徒の適応指導といじめへの対応、こども文化パスポート事業、発達障害の早期発見等、それから放課後児童クラブについて質問がありました。

今回この放課後児童クラブについて、子育て等の貧困等も含めて3人の方から質問がありました。放課後児童クラブと放課後子ども教室との関係で、今こども未来部と教育委員会とが厚労省と文科省の関係があって別々にやっているが、一元化したらどうかという問題を議員さんが3人とも話をされました。今後こども未来部と協議するということですが、結局のところ、これについての課題は、今まで小学校3年生まで放課後児童クラブを受け入れていたのを、昨年から3年生が6年生まで引き上げられたことで定員が増えました。そうすると校舎内にあった児童クラブの教室の広さが足りなくなりました。人数が多くなって別に棟を建てるとか、教室をもう1部屋下さいとかという問題で、学校とこども未来部とで色々な協議があったわけですが、その辺の課題を一元化すればもっとスムーズにいくのではないかというような提案があったところあります。

それから学校図書館の充実について。今度総合教育会議でもやります。それから旧四建ドックについては今反対運動の方たちの意見もあるわけですが、活用についての市民提案。それから公民館のトイレの問題、子供の貧困対策、ラジオ体操の奨励、市民プールの現状と教育予算について。市民プールの所管は市長部局に移っているわけですが、学校のプールについては教育予算に含めてというようなこと。その他、フッ素対策、防犯防災対策、図書通帳などあります。こういう項目の質問があったということで、箇条書きをしたところあります。

それから次の項目ですが、ピッツバーグの訪問の市長表敬ということで9月2日に、市長表敬

をしてまいりました。ピッツバーグについては、先般、少しお話をしておりますので省略をいたしますが、ピッツバーグと一緒にいった中学生たちと、運動会やいろんな会合で時々お会いをします。彼ら、彼女たちが、この前英語の弁論大会にも3人が出場しておりました。そういうことにも積極的にやっているということでもあります。

それから、米国派遣研修報告会ということで、行った者たち、私も含めて報告をいたしました。このセンターで、生徒たちが関心を持ったことについての報告を色々してくれました。松田教育委員さんが参加をしていただきました。ありがとうございました。

それから、井上勝一郎先生叙勲授章式ということで、9月3日にありました。この井上勝一郎先生は鹿児島大学の先生で、歯科医師の関係の研究をされている、そういう特殊な研究をずっとされている方でもあります。退職をされたのですが、こちらの方で日本中のその分野の関係者の方との研究はまだ続けておられるというようなことでありまして、この方は勝山地区のまちづくり協議会の会長さんにいずれなられるであろうと。それから、今、勝山小学校のコミュニティ・スクールの会長さんでもあります。その方の叙勲祝賀会に市長含めて我々も参加をさせていただきました。

それから9月8日は「エドワード・ゴリーの優雅な秘密」ということでのオープン式、開会式に参加をいたしました。藤井委員さんにも来ていただき、ありがとうございました。

それから、「平成28年度開設『教育政策リーダーコース』におけるビデオ教材のゲスト講師」と書いてありますが、兵庫教育大学の大学院の先生が、大学院の講座の中で教育長の話を使いたいということで、午後來られて、市長も含めてビデオ撮影をいたしました。教育センターの中も紹介をしました。最後に市長に10分ほど市のアピール、PRをしていただいて、それも入っております。

それから9月10日。私が参加をしたのは10日ですが、10、11日とシーモール全体を使って山口大学の教育学部の学生たちを中心として、高校生も含め、市の理科部、小学校の理科部、高校、そういうのも含めてサイエンスフェスティバルがありました。10日の夜は、教育委員会の教育研修課の主幹と生徒指導室の補佐の方達に大学生に30分ずつ講義をしていただきました。未来の先生たちに対しての講義で、その後、懇親を深めましたけれど、大変盛り上がったところでもあります。

それから、「Shimobiでガーデンアート」ということで、美術館のお庭で遊ぼうということなのですが、9月17日に美術館で初めて、野外を市民にオープンにしてということで、これ、ニュースで見られた方があるかも知れませんが、大変盛り上がりました。特に長府地区の方々が、豊浦小学校のマーチングバンドを初めとして、アートの関係、音楽の関係、色々やりました。これからもこういう形で、美術館が我らの美術館であるということ、垣根をもっともっと低くして気軽に来ていただく。そういう1つのイベントで大変良かったと思っております。

それから秋季大運動会。私が行った所だけ書いておりましたが、教育委員の皆さんにも行っていただき、大変ありがとうございました。中学校・小学校、無事に終わったところで、今週末が幼稚園、保育園ということで、来週、その次もあると思っておりますが、子供たちの全力で走る姿、大変良かったなと思っております。

それから絵画寄贈贈与式。市長さんのところに元山銀の方が、大きな絵を寄贈していただきました。新聞にも出ておりましたが、その寄贈は今度の歴史博物館に設置をするということで、またそこに行かれた時に見ていただければと思っております。

それから9月24日に、山口県高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会ということで、この教育センターでありました。これは山口県大会で、これの1位の方が全国大会に行って発表いたします。下関で毎年やっているのですが、文教の議員さんたち全員来られました。そして表彰をしたところでもあります。山高の方が全国大会に行くことになったと思っております。話を聞いておりましたが、定時制通信制の生徒の発表する人は成功例というか、そこで乗り越えて、こうやりましたという成功例の話をするわけですが、あれを聞いていて、やはりいじめでその学校に行けなくなって不登校になった、そして行き場がなくなって定時制に行って、そこで自分のまた生きがいを見つけて生徒会の役員をやったりして乗り越えてというような発表等が多いわけです。それから貧困で両親がいない、おじいちゃんおばあちゃんに育てられて、そこでアルバイトしながら

高校に通っているというような事例がいっぱいあるわけです。聞きながらやはり不登校になった原因がいじめにあったり、男女関係があったり、発表している子はそれを乗り越えているわけですが、そうでない子供たちも背景にはたくさんいるんだということを聞きながら、逆に私自身は反省もさせられましたし、1人の不登校の者を出しちゃいけないと強く感じたところです。やはり自分の力に合った学校に行ける、高校生活が送れると本当にいいなと。奨学金の改正もそういう意味では貧困に対しての生徒に対する補助ということで、多少でも貢献できるのかなと思ったり、聞きながら様々な思いがいたしました。すばらしい発表ですので、また機会がありましたら、どうぞ皆さん方も市内の高校の校長先生もほとんど来ておられて大変すばらしい会でありました。また来年もありますのでよろしくお願いします。

それからNHK学校コンクール全国大会出場。これは勝山小の児童がNHKホールで今度やります。熊野小と勝山小が中国大会に出場しましたが、山口県大会は熊野小が1位で勝山小が2位でした。そして今回、中国大会では逆転したということで勝山小が全国に行くことになりました。熊野小はもう前回から2回行ってありますが、勝山小は初めてであります。担当の先生に聞いたら、山口県大会で2位になった、それから中国大会までにメンバーのパートを変えたり、猛特訓をして臨んだということで、今回行けるようになって大変嬉しいということでありました。私も東京に聞きに行こうと思っております。また報告もしたいと思います。また、相田みつおさんの美術館で交渉もしていこうと思っているところであります。副館長さんと一緒に行く予定にしております。

報告は以上です。長くなりましたが何か委員の皆さんでご質問等がありましたらお願いします。ご質問なり、運動会の感想なり、何かありますか。はい、藤井委員。

藤井悦子（教育委員）

美術館でガーデンアートを拝見しました。屋外の展示ということもあり、多くの子供たちがいました。今までは美術館というのは垣根が高くて、子供を連れてくることができなかつたと思うので、外での展示で足が向きやすくなる良い取組だと思いました。また、美術館で9月14日と10月12日に子育て世代のお母さんを招待する取組を行います。子供を連れて行って、美術館では静かに展示物を鑑賞しなくてはいけないこと等を、教えることも大切な教育の基本であり、良い機会になると思います。子供たちを美術館に呼び込むような取組をこれからもしていただきたいと思ひます。

波佐間清（教育長）

ありがとうございました。他にございませんか。

（ありません）

波佐間清（教育長）

美術館で色々な取組をやっておりますので、また美術館と歴史博物館と長府地区の観光も含めてしっかりやっていけたらと思っております。報告をこれで終わりにしたいと思います。

【報告事項】

第2次下関市総合計画前期基本計画実施計画（平成28年度版）について

波佐間清（教育長）

続きまして、日程1の報告に入りたいと思ひます。まず、「第2次下関市総合計画 前期基本計画 実施計画（28年度版）について」、石津部長、お願いいたします。

石津幸紀生（教育部長）

それでは、「第2次下関市総合前期本計画実施計画（平成28年度版）について」、まず全体的なお話を私からさせていただきます、ここに書いてあります新規事業、教育委員会はこのたび

2件ほど新規事業として掲載をしておりますが、それぞれの事業につきましては担当の課長から説明をさせていただきたいと思っております。

まず、この実施計画ですけれども、ここの内容のところを見ていただければわかりますけれど、平成27年度から31年度までの5カ年間において、この前期基本計画の中に定めております市の施策、この施策目標を達成するために重点的に実施する主要な事業のことを実施計画事業と言っております。

実施計画事業について申し上げますと、大規模な投資的な事業、総事業費が概ね1億円を超える事業とか、あるいはハード・ソフトを問わず、この前期基本計画に定める施策の達成に大きな影響与える事業、あるいは総合計画に定める重点取り組み方針、この重点取組方針というのは人口減少対策であるとか、子育て支援であるとか、そういった取組に対して効果的であると認められたような事業について、この実施計画事業として掲載をするものであります。

平成28年度につきましては、委員の皆様には教育委員会だけでなく、すべての実施計画事業の冊子を今日お配りしておりますけれども、今年度の実施計画事業は全体で205事業あります。教育委員会の関係では、この205事業のうち、No.7史跡前田砲台保存整備、No.8の未指定文化財調査、それからずっと飛びましてNo.80から92まで合計15事業が今年度の実施計画事業として掲載をしているところであります。

もう少し申し上げますと、この実施結果は毎年見直しをしておりますけれども、まず最初に各課所室が実施計画のシートを作成いたしまして、総合政策部に出します。まず1次評価というのがありまして、3部長によるヒアリングを受けます。総合政策部長、総務部長、財政部長、この3部長によって、このシートの1次評価を受けます。そこでA評価となり、次の市長プレゼンで評価区分の変更がなければ、今回の実施計画に掲載をするようになります。B評価以下になりますと掲載をされないということになります。

今回、教育委員会は15事業掲載をしておりますけれども、結果的に掲載できなかった事業が他に2つあります。1つは、2年連続で市長プレゼンまで出しましたけれども、美術館の環境整備事業です。屋上防水であるとか、内部改造、売店を少し強化したいとかそういった美術館の改修を2年連続で実施計画に掲載したいということを出しましたけれども、市長プレゼンで残念ながら投資的な事業ではない、維持改修の類であるということから、美術館の改修はB評価となって掲載をしていないところであります。それともう1つは、最近非常に外国人の入館者が多い春帆楼の隣にあります日清講和記念館。これも非常に貴重な建物でありますし、また耐震性もないということで、何とか改修をしていきたいということで実施計画にエントリーをいたしましたけれども、文化財関係は事業が色々ありまして、中々大変だということで、こちらについてもB評価ということで新規掲載は見送っているところでございます。その結果、教育委員会では15事業を掲載し、新規事業として、今回安岡公民館と北部図書館、この2件について新たに掲載をしたところでございます。詳しいそれぞれの事業の説明につきましては、今から、それぞれの課長から説明をさせていただきたいと思っております。継続事業も13ありますので、委員の皆さんで今進捗状況はどうかとか、ご質問があればぜひお願いしたいと思っております。

波佐間清（教育長）

今の説明の中で、各課の方で何か特にこれはということ言っておいた方がいいようなことがあったら述べていただければと思います。はい、生涯学習課長。

古西修一（生涯学習課長）

生涯学習課です。よろしく申し上げます。安岡公民館の改築事業についてご説明します。5ページです。安岡公民館は昭和40年10月に開設をされております。ということで既に築50年を経過しております。老朽化に伴う外壁、それから内外装の劣化、それから空調機器をはじめとした設備の不具合等によりまして、利用者の快適性、それから安全性が著しく低下しております。それからまた海拔2.9mの区域内に位置しているということで、浸水の想定区域にも指定されております。それから耐震1次診断の結果ということで、耐震指標というのがあります。IS値といいますが、この基準値は0.8が基準値ですが、安岡公民館はこの1/10の0.08とい

うことで、これは地震に対する危険性も高いことから指定避難所としての役割を果たせていない状況にあります。さらに駐車場の収容台数も49台で、公民館の利用者数及びそれから安岡地区の人口規模から見ても十分な機能が果たしておりません。このことから、現公民館を移転し改築することが必須でありまして、移転先につきましては地元要望にもあがっております園芸センターの用地内を候補地として、これから検討していこうと思っております。移転改築にあたっては、他の施設との複合化、それから集約化を視野に入れながら、地域住民の生涯学習の機会を確保する、それから多様なニーズに対応した施設環境を整備することで、公民館機能のさらなる充実を図っていききたいと思っております。これによりまして、新たなコミュニティ拠点施設として利便性が向上するとともに、避難所としての機能を強化することで、災害時における地域住民の安全を守ることが可能となります。今後の計画につきましては、移転先の候補地及び整備方針等について関係各課と協議調整を重ねてまいりたいと思っております。安岡公民館の改築事業につきましては以上です。

波佐間清（教育長）

北部図書館整備について、図書館政策、お願いします。

高森俊明（図書館政策課長）

図書館政策課でございます。よろしくお願いたします。それでは報告事項「第2次下関市総合計画前期基本計画 実施計画（平成28年度版）について」のうち、No.91 北部図書館整備事業についてご説明いたします。

北部図書館整備事業は、本市図書館を取り巻く環境を的確に把握した上で、市民に対して総合的、計画的かつ効果的な図書館サービスを提供するため、本市図書館の将来的なあり方や方向性を明らかにする下関市立図書館基本計画を策定し、当該計画に基づきまして旧市北部地区への図書館整備に取り組むものでございます。以上ご報告いたします。

波佐間清（教育長）

ありがとうございました。その他の課の方でこれについて説明をというのがありましたらお願いをいたします。ないようでしたら、委員の皆さん何かご質問がありましたらお願いをいたします。はい、林委員。

林俊作（教育長職務代理者）

冊子の予算についてですが、平成28年度は新規事業ですから、平成27年度は「0」ですが、平成28年度も「0」、平成29年から31年まで「未定」となっています。安岡と北部公民館の2事業もなっていますが、平成28年度分はこれなら予算がついてくるという意味合いでいいのでしょうか。

石津幸紀生（教育部長）

これについては総務委員会でも、ある議員さんが実施計画なのだから、事業費が「0」とか「未定」というのはおかしいのではないかという意見もありました。総合計画の実施計画は、基本的には総合政策部が策定します。財政部長も同席していますけれども、事業費については、今後予算編成の中できちんと査定をしていくというスタンスであります。今後の予算編成の中でしっかりと精査していくという考えです。

波佐間清（教育長）

よろしいですか。他の委員さん何か。どうぞ、吉井委員。

吉井克也（教育委員）

北部図書館というのは、今は北部公民館の中にあるのですか。

波佐間清（教育長）

はい、図書館政策課。

高森俊明（図書館政策課長）

図書館政策課でございます。北部図書館というのは今ございませんので、これから新たに整備するというごことばでございます。具体的な整備方針についてはこれから検討することになります。

波佐間清（教育長）

他の委員さんでございますか。よろしいですか。

（ありません）

波佐間清（教育長）

意見がないようですので、この基本計画については報告済みといたします。

【報告事項】

平成28年度子ども文化パスポート事業の集計結果について

波佐間清（教育長）

次の「平成28年度子ども文化パスポート事業の集計結果について」、教育政策課、お願いします。

三好洋一（教育政策課長）

教育政策課でございます。よろしく願いいたします。それでは、「平成28年度子ども文化パスポート事業の集計結果について」ご報告をいたします。資料は6ページとなります。

これは、今年度実施いたしました子ども文化パスポート事業のうち、本市内にある施設17施設の利用者数等がまとまりましたので、その内容をご報告するものでございます。

子ども文化パスポート事業の概要につきましては、6月の定例会でご説明を差し上げたところでございますが、本市の17施設、そして北九州市の47施設、長門市の4施設、中間市の1施設、芦屋町の2施設、水巻町1施設、岡垣町3施設、遠賀町1施設、合計で76施設、こちらが対象施設となっております。子供たちが7月21日から8月31日までの42日間、パスポートを利用してこれら施設を訪れるという内容でございます。このうち、市内の17施設のパスポートの利用者数及びその施設総入場者数につきましては、平成27年度の合計、これが資料の1番下でございます。パスポート利用者数が5,092人、総入場者数は213,922人でございました。これを、平成27年度と比較いたしますと左側になりますけれども、パスポート利用者数は500人の増、総入場者数は11,680人の減でございます。総入場者数の減につきましては、今年の事業実施期間が昨年度より3日短かったこと、また期間中は例年以上の高温が続き、外出が敬遠されたということがその要因として考えられますが、こうした中パスポート利用者数につきましては増加しております。この1つには、今年度事業費を増額いたしまして、景品・プレゼント等を強化しております。その結果、本事業への参加意欲の向上につながり、結果としてパスポート利用者数の増という結果が得られたのではないかとということで、一定の事業成果が得られたものと判断しております。

今後におきましては、北九州市、長門市、北九州都市圏広域行政推進協議会とともに、参加施設からのアンケートや利用者の動向等を検証したうえで、次年度以降の事業に取り組んでまいりたいと考えております。以上、簡単ではございますが、ご報告とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

波佐間清（教育長）

ありがとうございました。今、子ども文化パスポートの説明がございましたが、何かご質問がありましたらお願いをいたします。はい、どうぞ。藤井委員。

藤井悦子（教育委員）

パスポートの利用者の中で、長府毛利邸、東行記念館及び長府庭園の利用者が特に多いようですが、何かイベント等が行われたのでしょうか。また、下関リサイクルプラザの利用者が減っているようなので、夏休み中に子供たちが興味を持つようリサイクルに関する講座等があれば良かったのかなと思いました。

波佐間清（教育長）

文化財保護課。お願いします。

沖吉洋一郎（文化財保護課長）

直接文化財保護課が所管している施設ではございませんので、あまり把握はできてはいないのですが、やはりPRの成果ではないかなと思っております。

波佐間清（教育長）

東行記念館が特に利用者が増えています。古城さんどうですか。

古城春樹（東行記念館長）

「花燃ゆ」という大河ドラマがありました。幕末の大河ドラマがある時に、龍馬伝の時もそうだったのですが、東行記念館は来館者が伸びておりまして、その影響があったのではないかと考えております。

波佐間清（教育長）

リサイクルプラザが減っているというご意見もありましたが、全体的に三好課長どうでしょう。

三好洋一（教育政策課長）

個々の施設につきましては、増えているところもあれば減っているところもありますので個々の要因があるのかなと思いますが、特に今回はスタンプラリーの景品を強化いたしました。

具体的に申し上げますと、景品の数が50個だったものを137個、倍増以上にさせております。そして、今までになかった取組として、試行的にですけれども、すべての施設を回ったらまた別の応募ができる。そうするとなかなか欲しがる様な景品を用意していたというようなこともあって、かなり積極的に可能な限り各施設を回りたいというお電話もいただいたところです。こういった工夫を今後もしていきたいと考えております。

波佐間清（教育長）

よろしいですか。はい、吉井委員。

吉井克也（教育委員）

すでにお話が出たところでございますけれども、ここ数年間、パスポートの利用者はずっと減ってきていました。今年度になって上向きになっていったということは様々な努力があったのだなと本当にありがたく思っております。東行記念館も人数が増えていますけれども、実は学芸員さんたちの動きが大変良くて、個人的な意見もありますが、若い女性が2人東行記念館に今就いていらっしゃいますけれども、来られた方の質問を非常に気持ちよく受けて、また館内の案内を進んでされたり、色々細かな気配りもしていらっしゃいます。大変ありがたいことです。これがパスポートの利用につながったかどうかはわかりませんが、どの館もそういう努力が今なされているのだらうなと思いました。ただ、引率者といえますか、大人の方の利用が全体としてやはり減ってきているのは、まだまだこの辺は改善の余地があるなと思いました。以上です。

波佐間清（教育長）

ありがとうございました。他の委員さん何かございますか。これを見た時に、例えば、豊田湖畔公園が81から154で倍増している。夏にキャンプをする方が増えたのかなということで、私も6月ごろでしたか、孫たちがここでキャンプをしたのですが、結構人が行っていました。こういう湖畔で野外会活動をする親子が増えてきているなという印象を非常に受けているわけですが、夏にこういう野外活動をするということ、いいことだなという感想を持ったところであります。その他、何かありますでしょうか。

(ありません)

波佐間清（教育長）

それでは報告済みといたします。

【報告事項】

平成28年度全国学力・学習状況調査における下関市の結果分析について

波佐間清（教育長）

それでは続きまして、別冊になると思いますが、「平成28年度全国学力・学習状況調査における下関市の結果分析について」、教育研修課、お願いいたします。

三井清（教育研修課主幹）

教育研修課でございます。去る4月19日に実施されました、「平成28年度全国学力・学習状況調査の結果について」ご報告させていただきます。2枚目からご覧ください。

本調査の目的は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握、分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることが目的でございます。実施対象及び教科については、2の項目でございますように、小学校6年生が、国語、算数、中学校3年生が国語、数学でございます。実施校数は、小学校48校、中学校22校です。小学校は蓋井小学校及び栗野小学校に6年生が在籍しておりませんでしたので、48校となっております。

それでは結果についてご報告いたします。4の項目をご覧ください。問題は、国語及び算数、数学についてはA問題とB問題に分かれており、A問題は主として知識に関する問題、B問題は主として学んだことの活用に関する問題でございます。小学校・中学校とも平均正答率の一覧を掲載させていただいております。下関市の結果は、小学校国語Aの平均正答率は74.4ポイント、国語Bが58.3ポイント、算数Aが78.1ポイント、算数Bが48.1ポイントでした。中学校では、国語Aが76.1ポイント、国語Bが65.7ポイント、数学Aが62.0ポイント、数学Bが43.6ポイントでございました。

続いて、次のページをご覧ください。本調査が再び全国での悉皆調査となった平成25年度からの平均正答率を一覧表にしております。まずは左半分の小学校の部分をご覧ください。平成26年度までは全国の平均正答率を下回る教科がありましたが、昨年度の平成27年度においてはすべての教科において、全国の平均正答率を上回っており、今年度も同様にすべての教科において、全国の平均正答率を上回りました。続いて右半分の中学校です。国語科については、平成25年度から継続して全国平均を下回っておりましたが、今年度、A問題において全国平均を上回りました。B問題はまだ下回っておりますが、昨年度までと比べ全国平均に近づいてきております。数学科については、A・B問題とも全国平均をわずかに下回っていますが、昨年度よりは高くなっている傾向がございます。

続いて3・4枚目をご覧ください。教科に関する調査の正答別の正答率や、児童生徒の生活や学習の様子をアンケート形式で問う児童生徒質問紙調査の結果分析から、学力向上に向けての課題と取組をまとめております。教科に関する調査の結果からは、特に顕著な点を国語科、算数・数学科、両教科共通から1点ずつ合計3点ほど取り上げております。児童生徒質問紙の結果からは、小・中学校別に成果と課題の顕著な点を取り上げております。

これらの結果分析から、下関市の課題と今後の取組は、継続して取り組むこととして5点。まずは、書く力を育てるために条件付きの書く活動に取り組む。各教科固有の用語の理解、定着を図る。複数の資料から必要な情報（図やグラフ表等含めて）を読み取り、それをもとにわかったことや考えたことを書いたり、説明したりする活動を仕組む。テレビ等の視聴時間や就寝時刻等の話題に触れ、児童生徒に基本的な生活習慣が身につくように家庭に働きかける。コミュニティ・スクールを積極的に活用した取り組みを行う、を挙げております。

また、今後さらに力を入れて取り組むことは6点。まずは、根拠を明確にして書いたり、説明したりする言語活動を積極的に仕組む。学力の個人差を解消するための取り組みを行う。算数・数学で継続した課題として挙げられている割合について教材や授業展開の工夫を図る。異校種連携について授業研究をもとにした合同研修会等を進めていく。既存の校内研修体制等の成果や課題を検証し、児童生徒の実態に応じて工夫・改善をしていく。学習指導要領の改訂と今後の改編点を意識して教育課程の編成や校内研修体制の見直しを行う、を挙げております。各学校においては、各種学力調査等を活用して結果の分析、課題把握を行い、児童生徒の実態や各学校の実情に応じて組織的な取り組みを進めていく、いわゆる検証改善サイクル、検証改善を年2回の検証サイクルで実施し、子供たち一人ひとりの学力向上に向けた取り組みをより一層推進してまいります。

今回提示させていただいたのは1回の調査結果ですが、平均正答率のみに一喜一憂することなく、各校と協力しながら児童生徒一人ひとりの課題を明らかにして課題解決を図ることが重要であります。15歳の心の教育と学力保障を目指して、これからも学力向上に向けて取り組みたいと考えております。以上、ご報告いたします。

波佐間清（教育長）

ただいま報告をいただきました。委員の皆さんの方から何かご質問がありましたらお願いいたします。はい、林委員。

林俊作（教育長職務代理者）

ずいぶんよくなってきていると思いますが、県内ではどの程度のところにいるのでしょうか。

波佐間清（教育長）

はい、お願いします。

三井清（教育研修課主幹）

資料の2枚目の裏をご覧ください、平成28年度の下関の状況を山口県と全国で比べた表が一番下のところにあると思います。その中で全国よりは、先ほど申しましたように下関市は小学校についてはほぼ上回っておりますが、山口県と比較するとほぼ同程度か、やや下回っている傾向がございます。中学校については、小学校よりもその差がやや大きいというところではございますけれど、平成25、26、27と比べていくと差が徐々に縮まっていると捉えておりますので、今現在行っている取組をさらに充実させて、子供たち一人ひとりの学力向上に向けた取組を推進していきたいと考えているところです。以上です。

波佐間清（教育長）

よろしいですか。はい、それでは吉井委員。

吉井克也（教育委員）

生徒の質問用紙の結果からというところに色々書いてありますが、ゲームなどを利用する時間等が全国平均を上回っているとか、家庭生活で気になる事柄がまだあります。おそらく学力の向上に向けての大きな力の1つは家庭の教育力の向上にあると強く思っております。学校によっては月に1回ではありますけれども、ノーテレビデーというのが設けられていて、うちの孫たちも真面目に取り組んでおりますけれども、ノーテレビデーの日はテレビを見ません。本を引っ張り

出してきて読んだり、それなりに充実して過ごしています。そういう時間を十分家庭でも保障できるように、そういう取組にもさらに力を入れていただきたいなと思っております。以上です。

三井清（教育研修課主幹）

ありがとうございます。吉井委員さんがおっしゃるとおりだと思います。家庭と連携した取組なしには、学力向上に向けて充実した取組がなされるということはありません。幸い下関市ではコミュニティ・スクールの取組が各地区で充実しておりますので、今後も、各地域、家庭と連携しながら、ノーテレビデーの取組など、子供たちの家庭生活の充実に向けた取組を推進していきたいと考えているところです。

波佐間清（教育長）

ノーテレビデーのようなことをやっている学校はどのくらいありますか。

三井清（教育研修課主幹）

実際に何校というのは掴めてないところですけど、この夏休みの間に、下関市の学力向上連絡協議会、各小・中学校区単位で学力向上に向けた取組を、小学校と中学校、または家庭の方を含めて話し合うという場がございました。7地域に出席させていただいたのですが、どの地域においてもノーテレビデーについて、それから家庭との連携についての話題が出ておりましたので、そういう面での取組、先生方の意識、家庭の方、地域の方の意識は、ずいぶん高まっているのではないかと認識しております。

波佐間清（教育長）

ノーテレビ、ノーゲーム、ノースマホ。そういうようなことも含めて学校と家庭とが一緒になってやると、その日だけでもそういう意識、それから本を読むという習慣をという、今回、議会でも質問があったのですけれど、やはりテレビ等がなかったときに、その日本を読んで過ごす、そういうようなことも大事なことかなと思っております。今後そのあたりも含めて、学校の方にもしっかりとやっていきたいと思っております。他に、委員さん何かございますか。はい、どうぞ。

吉井克也（教育委員）

本当に家庭と連携したそういう取組というのは学習だけに限らず、いわゆる生活習慣、そういうリズムを整えるという上で必要だと思います。東部中学校区では、幼稚園等も一緒になって、家庭学習の手引きと、いわゆる学習習慣、幼稚園ぐらいになると生活習慣も含めた発達段階に応じて家庭でこんなことを目標にこういうことにチャレンジしようというものを、地区全体で共有して、それこそ関係者が何回も集まって作成しております。そういう取組を他の中学校区にもぜひ紹介して、本当に地域ぐるみ、幼・小・中が連携した取組という形で進める必要があるなと考えているところです。

波佐間清（教育長）

ありがとうございました。よろしいでしょうか。

（はい）

波佐間清（教育長）

それではこの件については、報告済みといたします。

【報告事項】

工事請負契約の締結について

波佐間清（教育長）

続きまして、「工事請負契約の締結について」、学校支援課、お願いいたします。

宇都宮義弘（学校支援課長）

学校支援課でございます。資料7ページをお願いいたします。平成28年度小・中学校非構造部材耐震改修工事21件のうち、設計金額が5,000万円以上の工事案件が2件ございます。

1件目の豊北中学校は8月の教育委員会定例会でご報告させていただきましたが、残り1件の請負契約の締結についてご報告いたします。工事名は、下関市立王喜小学校屋内運動場非構造部材耐震改修工事でございます。工事場所は、王喜本町2丁目12番30号。請負業者は、下関市綾羅木本町にあります株式会社 東昇でございます。予定価格は税込み5,290万5,960円、請負金額は税込み4,811万4,000円でございます。落札率は90.94%、工期は平成28年9月6日から平成29年2月28日の176日間でございます。入札方法は、条件付き一般競争入札で入札参加業者は3社ございました。落札日は8月16日、契約締結日は9月5日でございます。工事の概要は、屋内運動場の地震時に落下の恐れがあるつり天井の撤去をすることで防災機能を強化することと、照明器具、時計、スピーカー等、校歌額縁等落下防止を行うものでございます。

先程冒頭ご説明しました、耐震改修工事が21件と申しましたけども、実は前回の説明で22件とご報告させていただいております。そのあと、実は誠意小学校の電気設備工事が2回の入札で不調ございました。ですから、誠意小学校の建築主体に入れ込むということで、工事件数が1件減っております。ですから、小学校8校、建築主体、電気設備で各工事合わせて15件、中学校は3校、同じく各工事合わせて6件、すべての工事につきましては、改修された屋内運動場で3月の卒業式を迎えるよう、遅くとも2月末には完了する予定でございます。

以上簡単でございますが工事の報告でございます。よろしく申し上げます。

波佐間清（教育長）

説明を受けました。何かご質問がありましたらお願いします。

（ありません）

波佐間清（教育長）

ないようですので報告済みといたします。

【報告事項】

平成28年度地区文化祭・公民館まつり等について

波佐間清（教育長）

続きまして、「28年度地区文化祭・公民館まつり等について」、生涯学習課、お願いいたします。

古西修一（生涯学習課長）

資料の8ページをお願いします。報告事項「平成28年度地区文化祭・公民館まつり等」の日程についてご説明いたします。9ページに一覧表を載せております。

10月以降に市内の公民館、生涯学習センター、ふれあいセンター、ふれあい会館の各会場で開催をされます。作品展示や芸能発表など、地域の学校や団体の日頃の活動の成果をぜひご覧いただければと思います。

それから、生涯学習プラザの第7回ドリームシップまつりが、お手元にこの黄緑色のパンフレットをつけております。10月の22、23日、この土日に開催される予定になっておりますので、ぜひご覧いただければと思っております。以上、ご報告いたします。

波佐間清（教育長）

ただいま地区の文化祭、公民館まつり等のご説明をいただきました。何かご質問がありましたらお願いをいたします。この会にも私も様々な形で参加を毎年しております。特にドリームシップまつりという別刷りの大掛かりの会もあります。これもだんだん盛況になってきているように感じております。何かありますか。

(ありません)

波佐間清 (教育長)

それではないようですので、これは報告済みといたします。

【報告事項】

下関市青少年補導委員の解嘱及び委嘱について

波佐間清 (教育長)

続きまして、「下関市青少年補導委員の解嘱及び委嘱について」、生涯学習課、お願いいたします。

古西修一 (生涯学習課長)

資料の10ページになります。報告事項「下関市青少年補導委員の解嘱及び委嘱について」ご説明いたします。

本市は問題青少年の早期発見、早期補導等の活動をするため、専門委員として下関市青少年補導委員を設置しております。このたび、人事異動に伴う職域補導委員の交代の申し出がありましたので、28年8月31日付けでゆめシティの山中博代委員を解嘱し、後任の委員として今岡良規氏を9月1日付けで委嘱いたしました。任期は前任者の残任期間の平成29年5月31日までとなります。以上、ご報告をいたします。

波佐間清 (教育長)

ただいま、報告がありましたが何かございますでしょうか。

(ありません)

波佐間清 (教育長)

よろしいですか。それではこの件については報告済みといたします。

【報告事項】

枝木の落下に伴う車両損傷事故について

波佐間清 (教育長)

続きまして、専決事項の「枝木の落下に伴う車両損傷事故について」、同じく生涯学習課、お願いいたします。

古西修一 (生涯学習課長)

資料の11ページになります。専決処分の報告「枝木の落下に伴う車両損傷事故について」ご説明いたします。

まず事故の概要ですが、平成28年4月17日日曜日の午後0時30分頃、子供のピアノ発表会のリハーサル会場として清末公民館を利用した後、帰宅するために被害者 ●●●●氏の自動車を妻が運転し、公民館の敷地内を走行していたところ、植え込みにあった樹木の枝が風により折れ、たまたま通りかかった被害者の車両の上に落下し、後ろのルーフパネルというところですが、この右後ろに1センチ程度の傷と浅いへこみを生じさせてしまったものです。この件について、

保険会社及び市の顧問弁護士である今村弁護士に相談をしましたが、事故当日の風速が毎秒7.3 mということで普段よりも強かったものの、公の営造物に瑕疵があったことを認めまして、国家賠償法第2条に基づき損害賠償額の全額について市に賠償責任があるとの回答をいただきました。その後、8月23日に開催された下関市損害賠償審査委員会の審査結果においても、市の責任割合は10割との判断をいただきました。この結果を得まして、9月16日付けで8万5,834円の損害賠償額を定めることについて、地方自治法第180条第1項及び市長の専決処分事項に関する条例第2条第1号の規定に基づき専決処分をいたしました。

事故後の対応、それから安全対策としましては、清末公民館の前のロータリー内の枯れ木、それから伸びている枝をすべて伐採をするとともに、本庁管内の公民館、それから教育支所に注意喚起の周知を行いました。今後、同様の事故が発生しないよう、なかなか防ぐことは難しい事故ではございますが、管理を徹底していきたいと思っております。以上、ご報告いたします。

波佐間清（教育長）

ただいま報告がありましたが、何かご質問がありましたらお願いします。はい、吉井委員。

吉井克也（教育委員）

落下した枝ですが、生木が折れたのですか。枯れ枝がポトンと落ちたのですか。

波佐間清（教育長）

はい、お願いします。

古西修一（生涯学習課長）

微妙なところですが、清末公民館は、東部中学校に行くところの樹木は危ないということで、平成26年度末にすべて4、5本切ったのですけども、ロータリーのところはその時点ではそうはなかったということで、今回7.3 mということで結構強風でしたので、その関係で枝木が折れたということでございます。

波佐間清（教育長）

はい、どうぞ。

吉井克也（教育委員）

今、私がそれを聞いたのは、例えば強風の時にそういう立ち木の、枯れ枝はまたちょっと違うかもしれませんが、下に車を置いたとか、そしてその生木が折れて落ちたときに、一体どちらに責任があるのかという思いがしました。大きな枯れ枝が危険なのにそのまま放置されていたということになると所有者の責任だろうと思えますし、どうなんだろうと思ってお尋ねをしました。

波佐間清（教育長）

はい、どうぞ。

古西修一（生涯学習課長）

台風などの場合で、それで枝が折れたという時は、これは市に責任はないように聞いております。今回の場合は、清末公民館の要望で、東部中学校の樹木とロータリーの前も一緒に要望が出ていたという事で、生涯学習課の方で放置していたという理由で、市の方に瑕疵があったという理由です。それと保険も全額下りたということになります。21日付けで修理は終わっております。弁護士に言った時点でもう修理をしても構いませんというお話をいたしました。市の事務手続が終了するまで待っておきましょうということで、昨日、菊川の方にお詫びに行きました。

波佐間清（教育長）

他にございますか。

(ありません)

波佐間清 (教育長)

よろしいですか。それでは報告済みといたします。

【報告事項】

下関市立歴史博物館の設置等に関する条例の一部の施行期日を定める規則について

波佐間清 (教育長)

最後になりますが、「下関市立歴史博物館の設置等に関する条例の一部の施行期日を定める規則について」、歴史博物館、お願いいたします。

古城春樹 (東行記念館長・歴史博物館長補佐)

歴史博物館です。よろしくをお願いいたします。12ページをお願いします。「下関市立歴史博物館の設置等に関する条例の一部の施行期日を定める規則について」ご報告させていただきます。

条文を読み上げます。下関市立歴史博物館の設置等に関する条例附則第1項ただし書きに規定する規定の施行期日は、平成28年11月18日とする。歴史博物館ではすべての工事が完了し、また資料の保存に重大な影響を与える館内の空気環境、温湿度状況も比較的良好な状態で、予定どおり、本年11月18日に開館できる見通しが立ちましたので、下関市立歴史博物館の設置等に関する条例中、一部施行されていなかった規定について施行期日を、平成28年11月18日とする規則を制定いたしました。平成28年11月18日より施行される規定につきましては、第2条第1項、第3条第1項及び第3項、第4条、第6条、第7条中観覧料及び駐車料金の減免に関する部分、第8条中観覧料及び駐車料金に関する部分、並びに別表第1及び別表第3の規定で休館日に関する規定、それから開館時間に関する規定、観覧料及び駐車料金に関するものでございます。なお、下関市立歴史博物館の観覧料等に関する規則、附則第1項ただし書きにより下関市立歴史博物館の観覧料等に関する規則のうち、施行されていなかった規定が下関市立歴史博物館の設置等に関する条例附則第1項ただし書きの規則で定める日から施行されるため、下関市立歴史博物館の観覧料等に関する規則のうち、第2条第1項及び第3項、第3条第1項第1号、第3号及び第4号、同条第2項並びに第4条の規定が同日付けで施行されます。いずれも、観覧料及び駐車料金に関する規定です。以上、ご報告申し上げます。

波佐間清 (教育長)

この条例については、手元にはこの1枚しかありませんが、以前に説明はされていますか。

古城春樹 (東行記念館長・歴史博物館長補佐)

すみません。一応、条例に関しては説明をさせていただいております。

波佐間清 (教育長)

1度やっているのですね。その日にちが確定をしたと。

古城春樹 (東行記念館長・歴史博物館長補佐)

4月1日で一部施行されておりましたが、残りの部分、観覧料等、駐車料金、そして特別観覧料、その他開館日に関する規則などが今回定められたということになります。

波佐間清 (教育長)

平成28年11月18日がオープンの日ですので、この日ということになったということになります。他に、何かご質問があったらお願いをいたします。

(ありません)

波佐間清（教育長）

ないようでしたら、一応報告については以上で終わりたいと思います。

【その他】

波佐間清（教育長）

それでは、日程2その他ですが、何かございましたら。吉井委員、先ほどの吉田の楽市楽座の件はどうですか。

吉井克也（教育委員）

10月2日でございますけれども、吉田東行庵のあるまちでございます。まちの再興をねらって、その最初の取組として54、5年ぶりに、また、市をやろうと。地域の皆さんの元気を発信しようということでございます。それがやがて吉田のまちづくりにつながる、あるいは吉田に移住したいという人たちを少しでも増やしていこうというねらいも持ってやるわけでございます。お暇はないと思いますが、もしよろしければぜひ10月2日、1時間でも2時間でも吉田のまちを散策していただけたらと思います。お帰りにはぜひ東行記念館にも、お立ち寄りください。以上でございます。

波佐間清（教育長）

ありがとございました。これはページをめくってみると、吉田のまち、昔の旧街道のまち並みの絵も出ております。10月2日、この日曜日ですので、9時から15時まで吉田のこども園、みどりこども園と鼓笛隊パレードがあったり、音学会があったり、特設プールで鮎取り体験等色々あるようですので、時間のある方はどうぞ行って頂ければと思います。

私の方から。今午前中にリオデジャネイロのパラリンピックで銀メダルを取られた道下美里さんが、市の方で市民栄誉賞ということで、多分この時間帯に市で表彰式をやっているのではないかなと思っていますが、今日の午後、この道下さんが阿川小学校に行かれて、子供たちにお話をされます。懇話会という形でされるようであります。私も藤井委員さんと急遽行ってこうと思っています。中野書店のお嬢さんであります。

ほかに、委員さん、何かその他で報告などありましたらお願いします。

(ありません)

波佐間清（教育長）

ないようでしたら、次回の日程についてお話をしたいと思います。次回の10月の教育委員会の定例会は、10月24日月曜日午前、当下関市教育センターの大研修室で行います。

その他市長による総合教育会議が、今度の10月14日に開催されます。市長との意見交換ということであります。今回の協議テーマは、学校図書館の活性化が1つ目、2つ目が歴史博物館と観光行政との連携についてということ、3つ目が住民自治によるまちづくりということで協議をする予定になっております。関係の課長さんも同席をお願いしたいと思います。

【閉会の宣告】

波佐間清（教育長）

それでは本日の議事すべて終了いたしました。これで定例会を終わりたいと思います。お疲れでございました。

(お疲れ様でした)

署名

教育長

署名委員

署名委員

作成職員
